海外レポート	中国　上海

「第６回中国国際輸入博覧会に出展した日本企業」

胡　暁雯

第６回中国国際輸入博覧会が 11 月５日から 10 日まで上海市で開催され国内外から数多くの企業が参加しました。日本企業の出展は 350 社と中国企業に次いで２番目に多く、出展分野も自動車、エネルギー、化学材料、電子部品など多岐にわたりました。

日本企業の海外進出と貿易促進に取り組む日本貿易振興機構（ジェトロ）は、今回で６回目の出展となりました。ジェトロ主催のグループ展示には、前回の２倍となる日本の中小企業約 150 社が参加しました。「食品」と「消費財」の 2 大ブロックに「JAPAN MALL 展示ブース」がそれぞれ設置され、良質な製品 650 種類余りが展示されました。その中、食品ブロックに設けられた日本酒の試飲コーナーは、第 1 回博覧会以来、毎年会場で最も人気のある場所の一つです。

【日本酒の試飲コーナー】

今回は、日本酒、焼酎、ウイスキー、梅酒など、前回の３倍以上となる 150 種類以上の酒類が出品されました。試飲コーナーでは、来場者が日本のお酒を自由に試飲することができます。４人のソムリエが常駐しており、日本酒に関するさまざまな質問に回答してくれます。さらに、会場内には 100 種類以上の日本の加工食品やスナックも用意され、来場者が日本の食品や酒の特徴、風味について理解を深めながら飲食ができるようになっていました。

消費財ブロックでは、ジェトロは今回『アウトドア用品』と『ペット用品』の二つのテーマを掲げ、日本の 23 ブランド 400 種類の製品が展示されました。その中にはスノーピーク、キャプテンスタッグ、ユニフレームなど、中国で口コミ評価が高い人気ブランドも含まれています。

【アウトドア展示ブース】

アウトドア用品展示ブースには、スノーボード、スキー、ウェア、ゴーグル、高性能のスキー・スノボ用ワックスなどのウィンタースポーツ用品、また、テント、携帯用の鍋、調理器具、テーブル・椅子などのキャンプ用品が展示されました。スノーピークのチタンマグ、キャプテンスタッグの四角型テントは、今回最も注目度の高い人気商品でした。ペット用品展示ブースには、ペット用消臭グッズ、トイレ、食器、お風呂用品、歯ブラシ、おもちゃなどが展示されました。消費財分野でも特徴ある日本商品が存在感を示していたことが印象に残りました。

参照：

①第 6 回輸入博における日本ブランド出展者についての考察

②日本貿易振興機構：６年連続の出展、中国の新たな消費動向に注目